

宇宙開発の現状報告

(平成 24 年 3 月 7 日(水曜日) ~ 平成 24 年 3 月 13 日(火曜日))

平成 24 年 3 月 14 日
宇宙開発委員会事務局

本電気株式会社代表取締役執行役員社長、佃三菱重工業株式会社取締役会長が出席した。会合では平野文部科学大臣から、宇宙分野のパッケージ型インフラ海外展開に貢献する取組みとして、JAXA における研究開発を通じてのメーカー支援、国際協力の推進、人材育成、技術協力等についての取組みが紹介された。

宇宙開発に関する海外の動向

特になし

宇宙開発に関する国内の動向

- 「ひので」太陽黒点半暗部形成の前駆構造を初めてとらえた
3月8日(木曜日)、JAXA は、太陽観測衛星「ひので」が、太陽黒点が誕生から大きな黒点に成長する様子を連続的に観測することに成功したと発表した。「ひので」による観測の結果、小黒点の誕生直後に、小黒点をとリまく半暗部に相当する構造(前駆構造)が、小黒点のある光球ではなくその上空の彩層で既に形成されていることを発見した。この発見は、太陽黒点が半暗部の無い小黒点から半暗部をもつ黒点に成長する際に、半暗部という特徴的な構造が形成される仕組みを理解するための大きな手がかりと考えられる。この発見は、アメリカの専門誌『アストロフィジカル・ジャーナル・レター』の3月10日号に掲載された。
- 第13回パッケージ型インフラ海外展開関係大臣会合の開催について
3月13日(火曜日)、官邸2階小ホールにて、宇宙分野をテーマとして第13回パッケージ型インフラ海外展開関係大臣会合が開催され、藤村内閣官房長官、古川国家戦略担当大臣の他、当省からは平野文部科学大臣が出席した。産業界からは、遠藤日